

園だより

名島保育園　　園長　林田　睦子

2026．11．1

園庭での活動が気持ちの良い気候になってきました♪
子ども達は、鬼ごっこをしたり、ボール遊びをしたりと園庭での活動を楽しんでおります(^^)
おもいきり外で活動をしたあとは、表情がガラリと変わりそれぞれのお仕事に真剣な表情でとりくむ姿が見られます。
保育参加も随時受け付けておりますのでお子さんの様子を是非見に来られてください☆

11 月の行事

5 日(木)　七五三参拝遠足
＊2 階クラス対象

20 日(金)　運動あそび参観
＊2 階クラス対象

21 日(土)　子育て支援会
クッキング教室

27 日(金)　運動あそび参観予備日
＊2 階クラス対象

１１月の一口メモ

【文化の日】――　第二次世界大戦が終わった翌昭和 21 年のこの日、日本国憲法が公布。新憲法の精神に基づき、「自由と平和を愛し、文化を進める」という趣旨で、昭和 23 年『文化の日』が制定された。芸術祭や文化勲章の授与などが行われる。

【勤労感謝の日】――　勤労を尊び、豊かな生産を祝い、互いに感謝し合う日として昭和 23 年に制定。それ以前は新嘗祭と呼ばれ、米などの穀物を神に供えて感謝する農耕儀礼だった。

★気持ちの良いあいさつをしましょう★

笑顔は一番の化粧、挨拶は心の扉です。
「おはようございます！」の挨拶はどうぞよろしくの心を込めて自ら笑顔でしましょう。
ご家庭でも笑顔の挨拶で気持ちの良い１日をスタートさせましょう(^^)



≪お知らせ・お願い≫

運動あそび参観について

本番　　１１月２０日（金）　千早グラウンド　１０：００～１１：００

予備日　１１月２７日（金）　千早グラウンド　１０：００～１１：００

・本番当日に開催出来なかった場合　➡　１１月２０日は通常保育
・本番当日に開催できた場合　　➡　予備日の１１月２７日は通常保育

内容予定
・ラジオ体操　　・さくらんぼリズム（全員対象）　　・ＣＤさん　かけっこ
・Ｂさん　かけっこ　　・Ａさん　リレー・パラウェーブ

＊天候等の状況により日程、内容の変更・中止となる場合があります。
＊お子さんは保育園から歩いてグラウンドへ向かいます。
　９：００までの登園にご協力お願い致します。
　保護者の方はグラウンドでお待ちください。
＊当日参観後、保育のお子さんは園へ、お子さんと一緒に帰られる方は現地解散となります。

＊マックスバリューさんへの駐車はご遠慮下さい。
過去に保育園に苦情が入り競技の途中で車の移動をお願いしております。

保育園の駐車場は利用できませんので、徒歩か公共の交通機関で登園してください。
グラウンドの周辺の路上に駐車をしますと、近隣の方にご迷惑をかけることとなり、
今後グラウンドの使用許可が下りなくなりますので、グラウンド周辺の路上には絶対に駐車しないで下さい。

＊保育園、千早グラウンドの周辺にコインパーキングがいくつかございますので
　ご利用予定のかたはお調べになってあると良いかと思います(^^)

※　「七五三参拝」　２階クラス対象

11 月 5 日(木)の七五三参拝は香椎宮へお参りに行きます。
詳細は先日配布しましたプリントをご覧ください。



※　リトミック参観　２階クラス対象

12 月のリトミック参観は 14 日(月)と 21 日(月)の 2 日間開催予定です。
両日同じ内容を行いますので保護者の方はどちらかの日程を選び参観して頂きます。

七五三って何？

女の子は 3 歳と 7 歳、男の子は 5 歳になった 11 月 15 日に晴れ着を着て氏神様に無事に成長できたことを感謝して、これからの健やかな成長を祈ります。本来は数え年（生まれた年を 1 歳とし、以後正月ごとに 1 歳ずつ加えた年齢）でのお祝いでしたが、今では満年齢（実年齢）で祝う事が多いようです。

子どもたちは受精したその瞬間から選ばれ、そして送り出された大切な命です。

お母さんのお腹の中にいても声も聞こえていますし、お母さんの心理状態も伝わります。

誕生してきた新生児は２８０日間の様々な異なった過去を持った立派な人間なのです。

昔は子どもが生まれても、病気で亡くなってしまうことも多く、**7 歳までは「神の子」と言われていました。**そのため、平安時代から 3～7 歳の子どもの成長の節目（厄年）に成長を祈る儀式が行われていました。また、奇数は縁起がよいとされているそうです。

3 歳「髪置（かみおき）」・・・男女とも髪を伸ばしはじめる
5 歳「袴着（はかまぎ）」・・・男の子が初めて袴をはく
7 歳「帯解（おびとき）」・・・女の子が初めて帯を締める着物にかえる

なぜ 11 月 15 日？

なぜ七五三が 11 月 15 日に行われるようになったのでしょうか？

・11 月の「鬼宿日」にあたり、鬼が家にいる間に神社へお参りに行く
・旧暦の霜月（11 月）の 15 日は「収穫祭」があり、その日に子どもの成長も祝った
・徳川綱吉が息子の髪置のお祝いをした日と、言う説があるそうです。

晴れ着を着るの？

3 歳：晴れ着に兵児帯（へこおび）を結んで、「被布（ひふ）」と言われる袖無しの上着を着ます。さらに髪飾りや草履・こっぽりとあわせます。お宮参りの時の祝い着を仕立て直して着ることも。

5 歳：いわゆる「紋付袴（もんつきはかま）」が基本。鷹や兜などおめでたい柄の羽織に袴をあわせ、白い扇子を持ち、白い鼻緒の雪駄（せった）を履きます。

「懐剣（かいけん）」（袋に入った小さな守り刀）を袴にはさんで身につけます。元は武家の女性が護身用に携帯したことから「いざという時は自分で自分の身を守る」という意味があるそうです。強い男の子になって欲しいという親心ですね。

左が扇子、右が懐剣



7 歳：七歳の衣装は和装の花嫁衣裳を模したものです。
「四つ身」の着物を着て、「はこ迫（せこ）」（箱型の紙入れ）を懐に入れ、「志古貴（しごき）」と呼ばれる芯のない帯を帯の下に結び後ろに垂らします。さらに髪飾りや草履・こっぽりとあわせ、扇子を帯じめにはさみます。

はこ迫は昔、ごく一部の上流階級の女性のみが持つことができたクラッチバックや化粧ポーチのようなものです。

7 歳後ろ姿。
帯も華やか、志古貴もかわいい！





胸元に、はこ迫

晴れ着は洋装でも大丈夫です。

千歳まで生きてほしい

引きずるくらい長い袋も長寿祈願のため。七五三にかかせない「千歳飴」。
「長くのびる飴のように、千年もの長い年月を健康に成長してほしい」という願いが込められています。江戸時代に浅草の飴屋がはじめたとされています。



